

## 研究課題：重症乳児におけるフロセミド反応性予測に関する後方視的研究

### 1. 研究の目的

集中治療を要する重症な乳児の患者さんでは、体の水分量のコントロールは重要な管理の1つです。フロセミドという利尿薬を用いることが一般的に行われていますが、その有効性を投与する前に予測することができれば、過剰な投与を行わずに済むのではないかと、この考えのもと行う研究です。

### 2. 研究の方法

過去に当院 PICU で行われたフロセミド投与に関して、診療録からデータを集めて解析を行います。

### 3. 研究期間

2017年4月1日から2017年12月31日

### 4. 研究に用いる資料・情報の種類

診療録からデータを収集します。集めるデータとしては身長、体重などの基本的な情報のほか、尿量や他の治療内容などです。

### 5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

得られたデータは当院でのみ取り扱い、外部へは提供いたしません。研究成果の発表に際しては、個人が特定できない形でデータを公表し、学会や論文で発表いたします。

### 6. 研究組織

研究代表者・責任者

埼玉県立小児医療センター 集中治療科 医師 山本夏啓

### 7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とし

ませんので、2019年3月31日まで下記の連絡先へお申出ください。  
その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター  
医事担当（代表 048-601-2200）